

| | |
|------|---------|
| 学校番号 | 1 0 1 4 |
|------|---------|

平成31年度 外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|-----|--------------|-----|------|--|
| 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | 2 | 第2学年 | All Aboard! English CommunicationⅡ (東京書籍) |

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・コミュニケーション英語Ⅱは、それぞれの Lesson に出てくる文法事項を確認しながら、主に「読むこと」「書くこと」の力をつける授業です。また各 Lesson で扱う文法や表現を使って会話を聞き、実際に会話することで「聞くこと」「話すこと」の力も養います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
- ・各 Lesson で扱う語彙や文法については、実際に自分がどう使うか、を意識して学習することが大切です。また実際に話すときはミスを恐れず発話することを意識しましょう。
- ・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションなどの「英語らしさ」を大切に、相手に伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第2学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（2単位）等

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|------------------|---|-----------------|--|---------|--|------------------------|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| 基本的な後や表現を使って、好き嫌いやできることなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。 決まった表現や形式を用いて、日時や場所について質問したり質問に答えたりすることができる。 | 学習状況の観察 実技テスト | 簡単な語や基礎的な語を用いて、パースデーカードなど、メッセージカードを書くことができる。 基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して簡単な英文（1文）を書くことができる。 | 学習状況の観察 定期考査 | ゆっくりはっきりと話されれば、「立て」「座れ」「止まれ」などの短い簡単な指示を理解することができる。 ゆっくりはっきりと発音されれば、身近な単語や句を正確に聞き取ることができる。 | 学習状況の観察 | 日常生活で使われる簡単な短い文章（携帯メールや招待状など）を理解することができる。 挿絵や写真のある簡単な1～3文程度の情景描写を理解でき、パースデーカードなどのメッセージの内容を読み取ることができる。 | 音読テスト 暗唱テスト 定期考査 |

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

| 観 点 | コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての 知識理解 |
|------------------|--|--|--|--|
| 実 施 方 法 | コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「聞くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | 英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 単元 (配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|--|---|---|---|---|--|
| Lesson 1 Fantastic Festivals 世界の祭り (7時間) | イタリアとフィ リピンの2つの 祭りに関する発 表について読 み、その特徴や 共通点を学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・世界の祭りに関心を 持ち、積極的に聞い たり読んだりでき る。 | ・単元の写真に関するリ スニング活動を行い、 概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を聞 違うことを恐れず、 積極的に話し合っ ている。 | ・ペアでの言語活動を 観察する。 ・ワークシートなどを 提出させ、その内容 を取り組み状況の 判断材料として活 用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・身近な行事について 間違いを恐れずに話 したり書いたりして いる。 | ・例示する表現を用いて 楽しみにしている行事 について3文程度の説 明文を書く。 | ・ある行事の写真を 見せ、メモをもと その様子を簡潔に 説明することができる。 | ・ペアでの言語活動を 観察する。 ・ワークシートなどを 提出させ、その内容 が理解できている かを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・世界の祭りに関する 説明を読み、概要を 的確にとらえてい る。 | ・紹介された祭りにつ いて本文の要約を書くと ともに、その内容を発 表する。 | ・本文で紹介された内 容に加えて、題材背 景資料等を用いて より詳しい説明が できる。 | ・グループでの言語活 動を観察する。 ・クラス内で発表を し、内容が理解でき ているかを判断す る。 |
| Lesson 2 Dancing with Freedom 自分を表現 すること (7時間) | ダンサーの菅原 小春さんについ て読み、世界で 活躍するまでの 道のりについて 学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・人物の紹介とその背 景や魅力に関心を持 ち、積極的に聞いたり 読んだりできる。 ・人物について積極的 に説明する。 | ・単元の写真に関するリ スニング活動を行い、 概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を聞 違うことを恐れず、 積極的に話し合っ ている。 | ・ペアでの言語活動を 観察する。 ・ワークシートなどを 提出させ、その内容 を取り組み状況の 判断材料として活 用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・自分のことについて 正確に表現し、適切 に説明できる。 | ・例示する表現を用いて 自分の性格や趣味につ いて3文程度の説明文 を書く。 | ・ある人物の写真を 見せ、メモをもとにそ の人物を簡潔に説 明することができる。 | ・グループでの言語活 動を観察する。 ・クラス内で発表を し、内容が理解でき ているかを判断す る。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・人物に関する説明に ついて概要を的確に 理解できる。 | ・紹介された人物につ いて本文の要約を書くと ともに、その内容を発 表する。 | ・本文で紹介された内 容に加えて、題材背 景資料等を用いて より詳しい説明が できる。 | ・グループでの言語活 動を観察する。 ・クラス内で発表を し、内容が理解でき ているかを判断す る。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・関係代名詞について 基本的な知識を理解 できる。 ・人物の紹介という場 面に適切な表現を理 解できる。 | ・本文中で用いられて いる意味や用法を理解 する。 | ・例示する表現を用い て挿絵の人物を描 写することができる。 | ・言語の使用場面と働 きを意識した小テ スト・定期テストに おいて、知識が身に 付いているかを判 断する。 |

| 単元 (配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|-------------------------------------|--|--|---|--|
| Lesson 3 The Spirit of the Forest 森の精霊 (7時間) | 天然記念物で日本の固有種であるヤマネと、その生息環境について学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ヤマネについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 野生動物と自然環境について積極的に表現できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | <ul style="list-style-type: none"> 聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 生息数が減少している動物について正確に表現し、適切に説明できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 例示する表現を用いて絶滅が危惧される動物について3文程度の説明文を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> 生息数が減少している動物にまつわる写真を見せ、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> グループでの言語活動を観察する。 クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 森の精霊についての説明を的確に理解できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ヤマネについて本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> 本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> グループでの言語活動を観察する。 クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 間接疑問の使い方を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 4 Living with Robots ロボットと築く未来 (7時間) | 科学技術発達の例としてロボットについて読み、未来の生活について考える。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ロボットの役割や未来の生活について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | <ul style="list-style-type: none"> 聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> テーマについての賛成・反対の考えとその理由を正確に聞き取ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 例示する表現を用いて与えられたテーマの賛成・反対について3文程度の説明文を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> 「ロボットは私たちに幸せにするか」について他者の意見を聞き、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> グループでの言語活動を観察する。 クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ロボットについての説明を読んで情報を理解し、概要をとらえることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ロボットについて要約を書くとともに、その内容を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> 本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> グループでの言語活動を観察する。 クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 分詞の使い方を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元 (配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|--|---|---|---|--|--|
| Lesson 5 Special Makeup in Kabuki 歌舞伎メイ クの物語 (7時間) | 日本の伝統文化である歌舞伎を説明する英語音声ガイドを聞いて、歌舞伎とその独特の舞台化粧・隈取について学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・歌舞伎や隈取について関心を持ち、積極的に読んだり聞いたりできる。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・隈取のデザインについて適切な表現を用いて説明できる。 | ・例示する表現を用いて隈取のデザインについて3文程度の説明文を書く。 | ・自分が考えた隈取の絵を見せ、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・歌舞伎の歴史や隈取の特徴について聞いたり読んだりしたことから要点をとらえることができる。 | ・歌舞伎について本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・不定詞についての基本的知識を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | ・例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 6 Microcosm in the Sea 世界遺産グレートバリアリーフ (7時間) | 世界遺産グレートバリアリーフについてのプレゼンテーションを通して、それが直面する問題について学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・グレートバリアリーフとその直面する問題について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・未来に残したい場所や景色について適切な表現を用いて説明できる。 | ・例示する表現を用いて未来に残したい場所や景色について5文程度の説明文を書く。 | ・日本を代表する世界遺産の写真を見せ、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・グレートバリアリーフについて聞いたり読んだりしたことから概要や要点をとらえることができる。 | ・グレートバリアリーフについて本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・if節についての基本的知識を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | ・例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元 (配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|--|---|---|--|--|--|
| Lesson 7 Hula, Dance for Tomorrow 笑顔をつな ぐ踊り (7時間) | 高校生のフラダンスチームメンバーの経験を通して福島県いわき市とフラダンスの縁について学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・いわき市の歴史とフラダンスとの関係について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違わないことを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・人を励ますためにできることについて自分の考えを適切に表現できる。 | ・例示する表現を用いて人を励ますためにできることについて5文程度の説明文を書く。 | ・人物の絵を見せ、メモをもとにその人物を励ますためにできることを簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・いわき市の歴史とフラダンスに関する説明を読み、概要や要点をとらえることができる。 | ・いわき市の歴史とフラダンスについて本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・知覚動詞についての基本的知識を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | ・例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 8 Magic of the Cotswolds 魔法にかけられて (7時間) | 「ハリー・ポッター」シリーズの舞台となったイギリスを訪れた結衣からのメールを読んで、イギリスの風景や文化について学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・イギリスの町の風景や文化について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違わないことを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・自分の好きな場所について説明できる。 | ・例示する表現を用いて「おすすめの場所」について理由を挙げながら3文程度の説明文を書く。 | ・「おすすめの場所」をメール形式でまとめ、内容を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・イギリスの町や文化について読み、概要や要点をとらえることができる。 | ・イギリスの文化について本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・関係副詞についての基本的知識を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | ・例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| | | | | | |
|--|--|--|---|--|--|
| Lesson 9 The Bitter Truth about Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実 (7時間) | チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・グラフを読んで情報を正確に読み取ることができる。 | ・例示する表現を用いて輸入している食糧について5文程度の説明文を書く。 | ・輸入食料品のグラフを見せ、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて要点や概要を読み取ることができる。 | ・カカオ生産者について要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・使役動詞についての基本的知識を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | ・例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 10 Designing for Peace デザインで世界を変える (7時間) | 工業デザイナーのマスード・ハッサニさんと彼のデザインした地雷探査機マイン・カフォンについて学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・マスード・ハッサニさんとマイン・カフォンについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・問題点に対する自分の考えについて聞き手に正確に、かつ適切に伝えることができる。 | ・例示する表現を用いて地域の問題点とその改善策について3文程度の説明文を書く。 | ・地域や社会の問題点について、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・マイン・カフォンについて聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 | ・工業デザイナーの視点で問題を解決していくハッサニさんについて要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・比較表現についての基本的知識を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | ・例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |